

地域
X
アート

日比野克彦氏 講演会 山の中の造船所 — 船を作れば、何処かに行ける —

私たちはその昔、海の向こうからやってきた。
山の中からは海の向こうは遙か彼方のそのまた向こう。
遠くになればなるほど、ここではない向こうへ
想いは馳せていく。想いがあれば身体は動き出す。
イメージがあるから行動できる。
行き先は頭上に輝く星座が教えてくれる。
山の中から遙か彼方へと、想いは形になっていく。



いてぎぞうせんじょ
『射手座造船所』

徳島県
上勝町

射手座造船所とは徳島県上勝町傍示地区に設置されてある日比野克彦氏のアート作品です。
この作品は第22回国民文化祭・とくしま2007上勝アートプロジェクトに於いて地元の杉の木を
使い、傍示の人々の手により作られました。

<講師プロフィール>

日比野克彦 (ひびの かつひこ / KATSUHIKO HIBINO)
アーティスト/東京藝術大学美術学部教授

1958年 岐阜生まれ。1984年 東京藝術大学大学院修了。
地域の人々と共同制作を行いながら、受取り手の感受する力に焦点を当てたアートプロジェクトを全国各地で展開し、
現代社会に於ける芸術の機能を創出し、アートを日常の中に取り入れる仕組みを創造している。
2003年、越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭「明後日新聞社文化事業部」「明後日朝顔プロジェクト」を発足
し、現在まで継続中。2007年、第22回国民文化祭・とくしま2007上勝アートプロジェクトにおいて、徳島県上勝町傍示
地区で「射手座造船所」を地元の杉の木を使い、傍示の方々と共に制作。2010年から、瀬戸内国際芸術祭において栗島など
を中心に「海底探査船美術館プロジェクト 一昨日丸」を展開。ほか、日本サッカー協会理事を務める。

参加無料

事前申込

2014年
3月21日(金・祝)

開場13:30 講演14:00-15:30

会場

北秋田市交流センター
多目的ホール

〒018-3311 秋田県北秋田市材木町2-2

事前申込・お問い合わせ

コミュニティステーション キタキタ
秋田県北秋田市材木町 1-21 (JR 鷹ノ巣駅前)

事前申込は以下の内容をご記入の上
電話(10:00-19:00)、FAXまたは
Eメールでお送り下さい。

- ①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号
⑥メールアドレス(ある方のみ)

TEL 0186-84-8510 FAX 0186-84-8519
E-MAIL kitakitainfo@zero-date.org



過去ゼロダテに参加したプログラム



ゼロダテリサーチツアー「旧小坂鉄道スケッチワークショップ」 / 2011

「小坂線」は大館駅から鹿角郡小坂町に至る鉄道路線で、小坂鉱山の鉱石輸送のために主に使用されていましたが 2009 年に廃止となりました。手つかずの自然の中の温泉地や長木側溪谷に沿うように線路が今も残っています。本ツアーでは、国内外の移動先ではドローイングを描くなど常に表現活動と向かい合っているアーティスト日比野克彦さんとともに線路を歩き、大自然のなかで気ままにスケッチをするワークショップを開催しました。



ハチ公小径バナー ライブペインティング / 2011

2010 年に大館市が旧正札竹村の建物の一部を解体し、新たに生まれたスペース「ハチ公小径」。ゼロダテが設置したタテ 15m×ヨコ 5m の大型バナースペース。日比野克彦さんが雨の中大勢の観客の目の前で、数時間にわたり新しいイメージを描きました。大型キャンバスが下から徐々に上に動き、その動きに合わせて絵が描かれていきました。(現在は取り外されています)



ハートマーク♥ビューイング / 2011

東日本大震災復興支援活動 ハートマーク♥ビューイングは、被災地のことを想う多くの人達が、「愛」や「気持ち」、「こころ」をイメージする形である「ハートマーク」を作り、それらを繋げたものを被災地に届け、被災者の方々の励み、被災地の復興への活力に役立てていただくプロジェクト。

大館市でワークショップを開催し制作されたハートマークは 3331 Arts Chiyoda 東日本大震災復興支援「Arts Action 3331」を通じ被災地に送られた。



明後日朝顔プロジェクト・大館(KITAKITA、JR 鷹ノ巣駅前) / 2012~

日比野克彦さんが 2003 年に新潟・助平(あざみひら)で地元の方々といっしょに始めた「明後日朝顔プロジェクト」。大館市ではゼロダテアートセンター、鶏めし花善(JR 大館駅前)、北秋田市では北秋田地域振興局、北鷹高校、JR 鷹ノ巣駅前で開催された。朝顔の育成を通して、人と人・人と地域・地域と地域のコミュニケーションを促し、現代社会に於ける人と地域の関係を検証する。人と人の関係性の中から創造されてくるカタチを芸術の根本と捉え、社会の中における芸術の機能性・多様性を試みる。



「葉絵」ワークショップ / 2012

コミュニティステーション キタキタで開催されたワークショップ。米どころ秋田の風景として親しんでいるものの、あまり触ったことのないワラと、ホームセンターでありふれている素材で作品をつくり最後に参加者と作品解説をおこなった。子どもからお年寄りまで参加し作ることと発表することの楽しさを体験した。



旧正札竹村屋上看板「よみかえる時計」 / 2013

旧正札竹村の屋上 8 階建て地上から 30 メートルの高さでおこなわれたライブペインティング。直径 4 メートルの丸い看板をキャンバスに「時計」を描き、大館の街の中心に出現した時計台。針は「正札」を指して「正札」を軸に新しい時間を回すような意味合いもあり、正札の再生プロジェクトも含めたゼロダテの取り組みやスタッフにエールを送った。